

# Windows Virtual Desktop ライセンスガイド

日本マイクロソフト株式会社  
2020/11/24

# ご注意とお願い

ライセンスに関しては、変更や改訂が入る可能性がございます。

ご契約形態、所有されている既存ライセンスにより状況がことなります。

個別のシステムや案件に関しては、必ずリセラー様や弊社担当者にご相談ください。

本資料は情報提供のみを目的としており、本資料に記載されている情報は、本資料作成時点でのマイクロソフトの見解を示したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。

本資料に表記されている内容（提示されている条件等を含みます）は、お客様との有効な契約を通じて決定されます。

それまでは、正式に確定するものではありません。従って、本資料の記載内容とは異なる場合があります。

また、本資料に記載されている価格は、いずれも別段の表記がない限り参考価格となります。

お客様の最終的な購入価格は、お客様のリセラー様により決定されます。

マイクロソフトは、本資料の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

# 目次

- ライセンスの利用シナリオ

---

- 必要ライセンスの購入方法

---

- ホスティング及びクラウド環境における  
ライセンス使用条件について

---

- FAQ

---

- ライセンス問い合わせ窓口

---

- Appendix

主要クライアントアプリのクラウド対応  
製品条項とOST（公開情報の案内）w/重点事項抜き出し

# ライセンスの利用シナリオ

# WVDで必要となるライセンス

<https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/virtual-desktop/>

TYPE	説明	資格の確認
Windows 10 および Windows 7の仮想化	資格のあるWindowsまたはMicrosoft 365ライセンスをお持ちの場合、追加コストなしでWindows 10 EnterpriseおよびWindows 7 Enterprise デスクトップとアプリにアクセスできます。無料の2023年1月までのWindows 7 仮想デスクトップ向けセキュリティ更新プログラムの延長を受けると、Windows 10に移行しながらも、レガシ アプリをサポートするための選択肢が増えます。	次のいずれかの <b>ユーザーごと</b> のライセンスをお持ちの場合、Windows Virtual Desktop が備わったWindows 10 および Windows 7にアクセスできます*。 <ul style="list-style-type: none"><li>● Microsoft 365 E3/E5</li><li>● Microsoft 365 A3/A5/Student Use Benefits</li><li>● Microsoft 365 Business Premium**</li><li>● Windows 10 Enterprise E3/E5</li><li>● Windows 10 Education A3/A5</li><li>● ユーザーあたり Windows 10 VDA</li></ul>
Windows Serverの仮想化	対象となるMicrosoft Remote Desktop Services (RDS) Client Access Licence (CAL) のお客様の場合、追加コストなしでWindows Server Remote Desktop Services デスクトップとアプリを搭載するデスクトップにアクセスできます。	ユーザーごとまたはデバイスごとのRDS CAL ライセンス（アクティブなソフトウェア アシュアランス（SA）付き）をお持ちの場合、Windows Server 2012 R2 以降のデスクトップとアプリにアクセスする資格があります。

\* Microsoft 365 E3/E5/F3/Business/A3/A5/Student Use Benefits、またはユーザーあたり Windows 10 VDA ライセンスをお持ちのお客様は、Windows 以外のPro エンドポイントから Windows Virtual Desktop にアクセスできます。

\*\* Microsoft 365 Business Premium は、2020年4月21日より前は Microsoft 365 Business と呼ばれていました。

# ライセンスシナリオ

**1** Windows デバイスからのWVDアクセス

**2** iPad、AndroidデバイスからのWVDアクセス

**3** WVD(Windows Server)へのアクセス

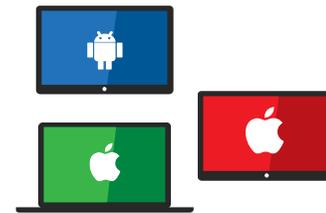
**4** Officeの利用 – Office永続ライセンスの持込

**5** Azure上のRPAロボットでOffice 365ファイル処理

**6** Visual Studioをつかった開発利用

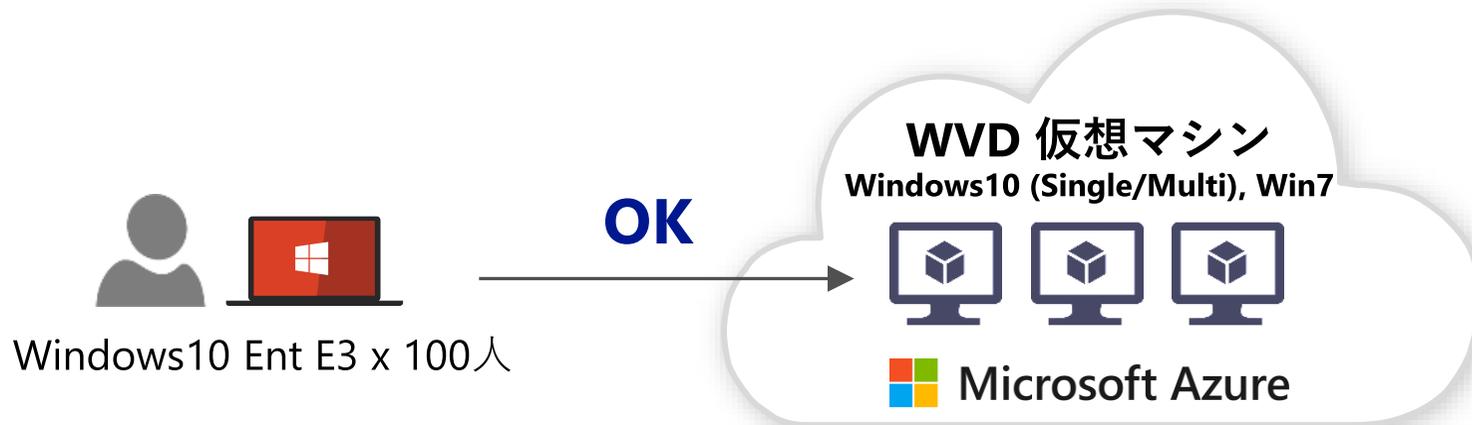
**7** Azure Dedicated HostでのWVD利用

# Windows デバイスからのWVDアクセス1



追加ライセンス不要

手元がWindows10 Ent E3 per userのみ



## お客様の既存環境

- 社員：100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有ライセンス  
- Windows 10 Ent E3 x 100

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- 重要なデータへのアクセスはWVDを利用

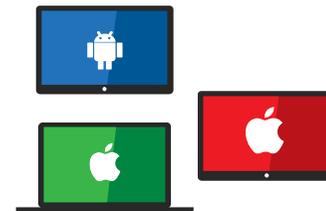
## 追加購入が必要なライセンス

- なし

### [解説]

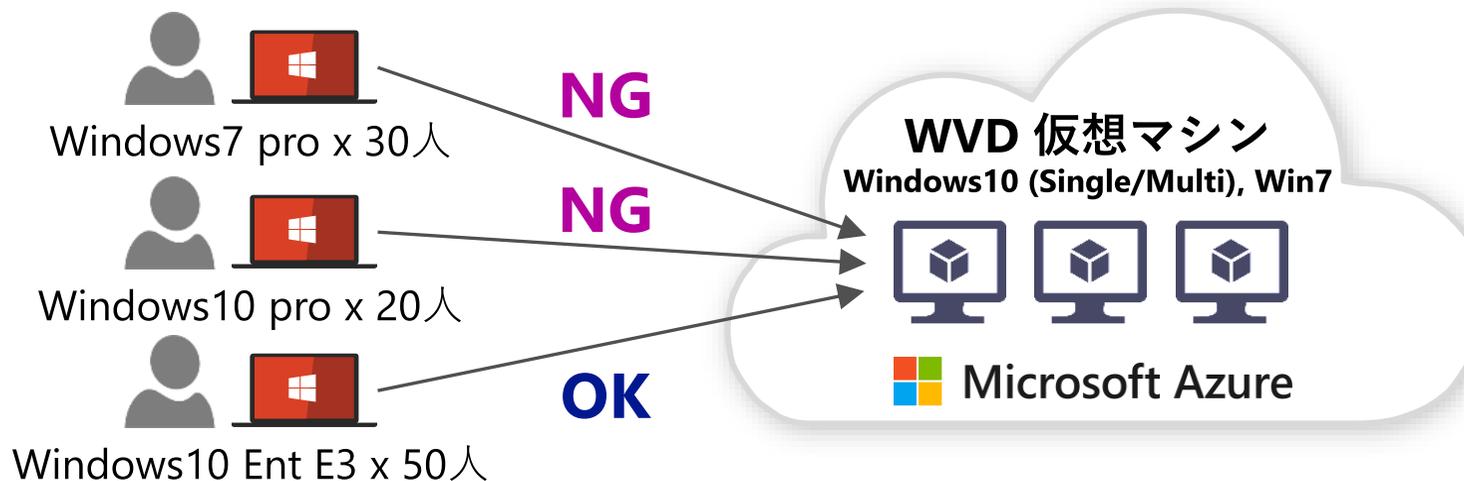
- 既にWVDを利用するために必要なライセンスを保有 (Windows 10 Ent E3 per user)
- ライセンスの追加購入は不要

# Windows デバイスからのWVDアクセス2



追加ライセンス必要

手元にWindows10 Pro、7がある



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有ライセンス
  - Windows 7 pro (OEM版) x 30
  - Windows 10 pro (OEM版) x 20
  - Windows 10 Ent E3 per user x 50

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- 重要なデータへのアクセスはWVDを利用

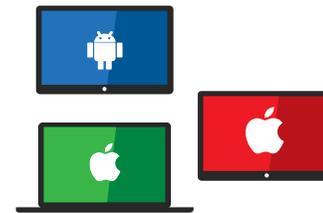
## 追加購入が必要なライセンス

- Windows 10 Ent E3 per user x 50  
※その他 WVDの利用権を含むLicense

### 【解説】

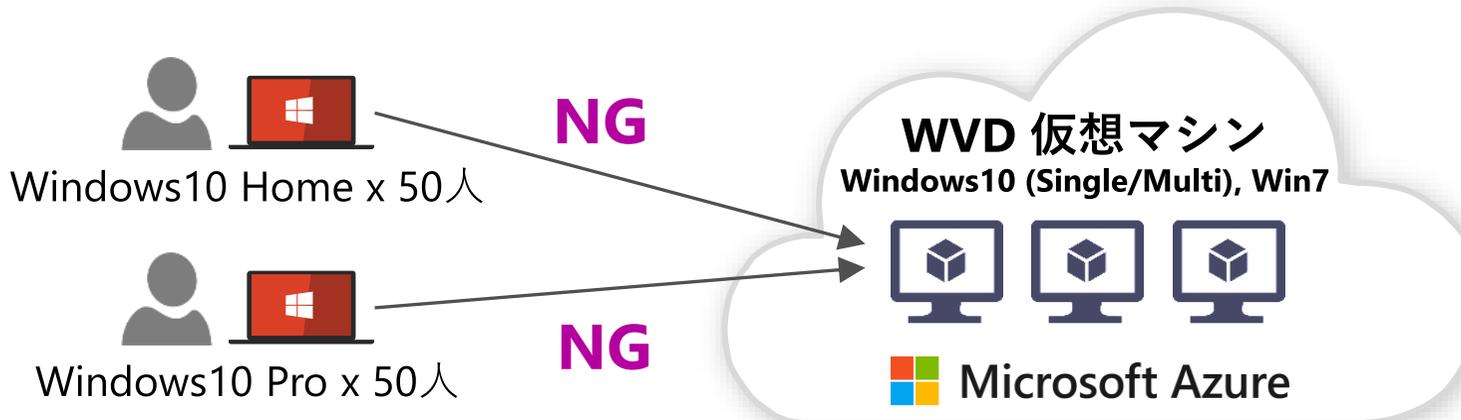
- WVDを利用するために必要なライセンスは現在50本保有 (Windows 10 Ent E3 per user)
- ただし、100人全員がWVDを利用する場合は追加で50本のライセンス購入が必要

# Windows デバイスからのWVDアクセス3



## 追加ライセンス必要

手元にWindows10はあるがOEM版  
WVDへ接続するために必要なライセンスは保有していない



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有OS
  - OEM : Windows 10 pro x 50
  - OEM : Windows 10 Home x 50

## シナリオ

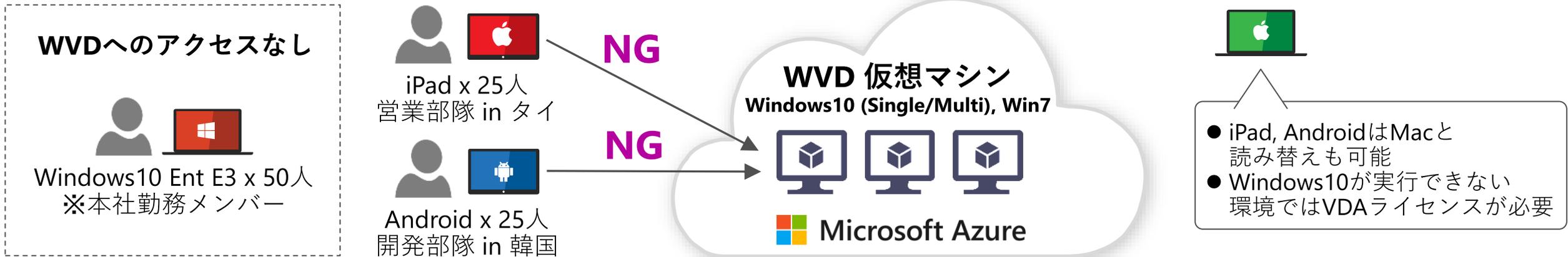
- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- 重要なデータへのアクセスはWVDを利用

## 追加購入が必要なライセンス

- Windows 10 Ent E3 per user x 50  
※その他 WVDの利用権を含むLicense
  - Win VDA E3 per user x 50  
※Home以外に使用していなければVDA E3 per userが必要
- [解説]**
- WVDを利用するために必要なライセンスを現状保有していないため、WVDへアクセスするユーザー分のライセンスが必要

# iPad, AndroidデバイスからのWVDアクセス1

追加ライセンス必要 手元がiPad, Android



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- iPad users x 25名  
Android users x 25名  
Windows10 users x 50名
- 社給 – Win10 PC  
BYOD – iPad, Android  
※社給とBYODは別メンバーが使用
- 所有OS  
- Windows 10 Ent E3 per user x 50

## シナリオ

- 本社勤務メンバーはWVD利用なし
- 本社勤務メンバーはWin10 PCのみ利用
- 海外勤務のiPAD、AndroidユーザーはiPad、Androidを利用  
※Windows10ライセンスならびに稼働環境なし
- iPad、AndroidユーザーのみWVD利用

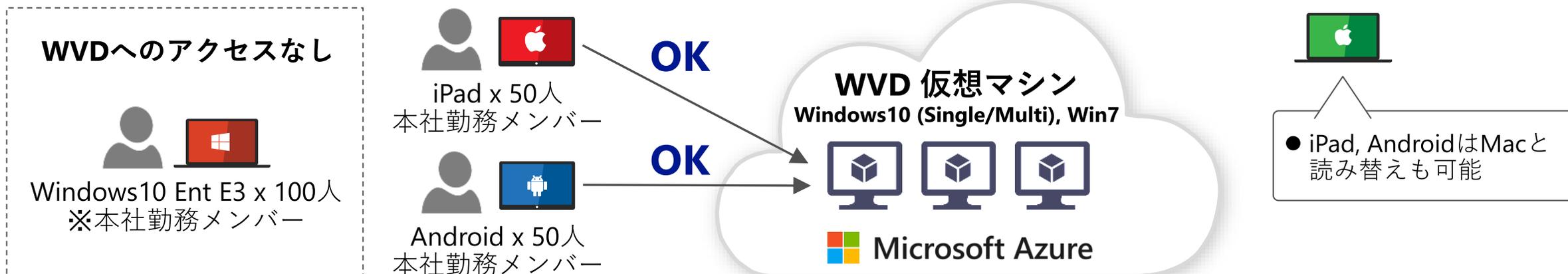
## 追加購入が必要なライセンス

- Windows10 VDA per user x 50
- [解説]
- iPad, Androidユーザー用ライセンスが必要
  - Windows10 Ent E3/E5 per User Licenseは物理環境がWindows10 pro以上である必要がある

# iPad, AndroidデバイスからのWVDアクセス2

追加ライセンス不要

手元がiPad, Android。しかし、別途Win10実行環境がある



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- iPad users x 50名  
Android users x 50名  
Windows10 users x 100名
- 社給 – Win10 PC  
BYOD – iPad, Android  
※社給とBYODは同一人物
- 所有OS  
- Windows 10 Ent E3 per user x 100

## シナリオ

- 本社勤務メンバーはWVD利用なし
- 本社勤務メンバーはWin10 PCとBYOL端末を利用
- BYOL端末からWVDを利用して社内システムへアクセス

## 追加購入が必要なライセンス

- なし
- [解説]**
- WVDにアクセスするユーザーは、WVDにアクセスするために必要なライセンスならびに実行環境を保有しているため、追加ライセンスの購入は不要

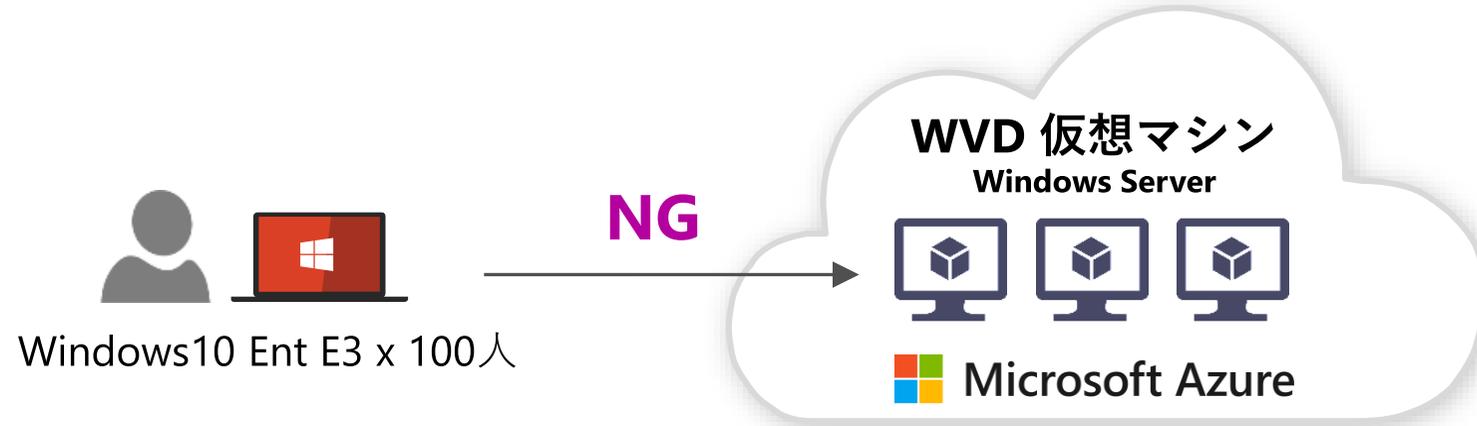
### TIPs

Win10 PCからのWVD接続も可能

# WVD(Windows Server)へのアクセス

追加ライセンス必要

RDS CAL with Software Assurance per user / per deviceが必要



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有OS
  - Windows 10 Ent E3 per user x 100

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- WVD上ではWindows Serverを展開

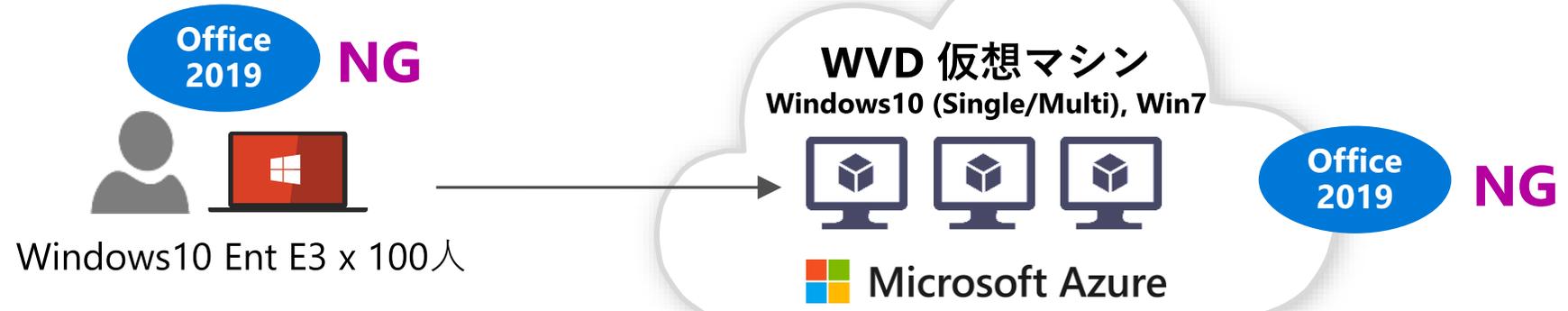
## 追加購入が必要なライセンス

- RDS CAL with Software Assurance per user x 100  
or per device x 接続PC台数分
- [解説]
- WVD展開をしたWindows ServerへアクセスするにはRDS CAL Licenseが必要

# Officeの利用 – Office永続ライセンスの持込

追加ライセンス必要

Office 永続ライセンスはクラウドへの持ち込み不可  
Microsoft 365 Apps が必要



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有OS
  - Windows 10 Ent E3 per user x 100
  - Office 2019 License x 100

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- WVDのVM上でOfficeを利用する

## 追加購入が必要なライセンス

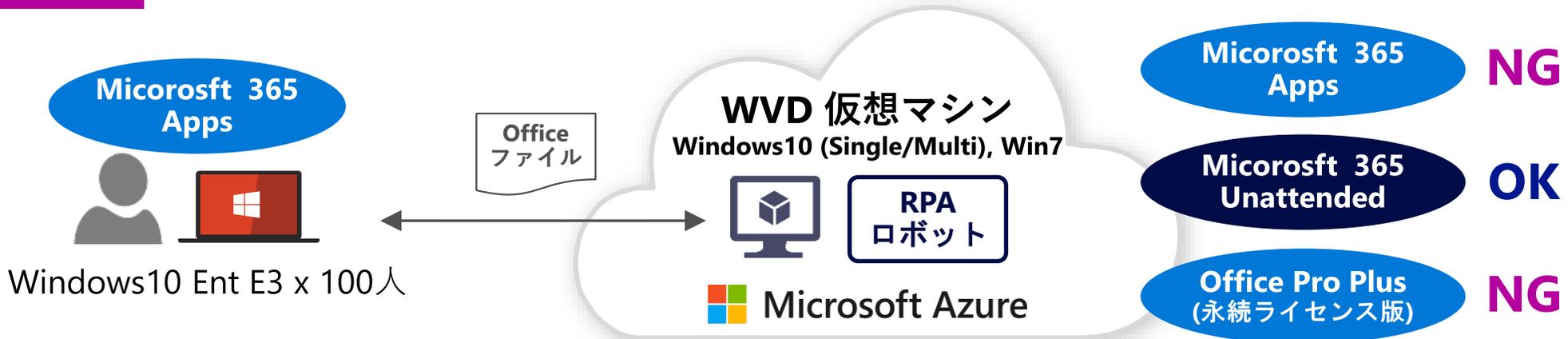
- Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧称Office 365 ProPlus) 又は Microsoft 365 Business Premium (旧称Microsoft 365 Business)に含まれるMicrosoft Apps for Business のいずれかが必要ユーザー数分を用意する必要あり

### [解説]

- Office 永続ライセンス版はクラウド上への持ち込みが不可
- Microsoft 365 Apps (上記参照) はAzureを含めたQMTHに認定されているクラウドへの持ち込みが可能 (QMTH : Qualified Multitenant Host)

# Azure上のRPAロボットでOffice 365ファイル进行处理

追加ライセンス必要



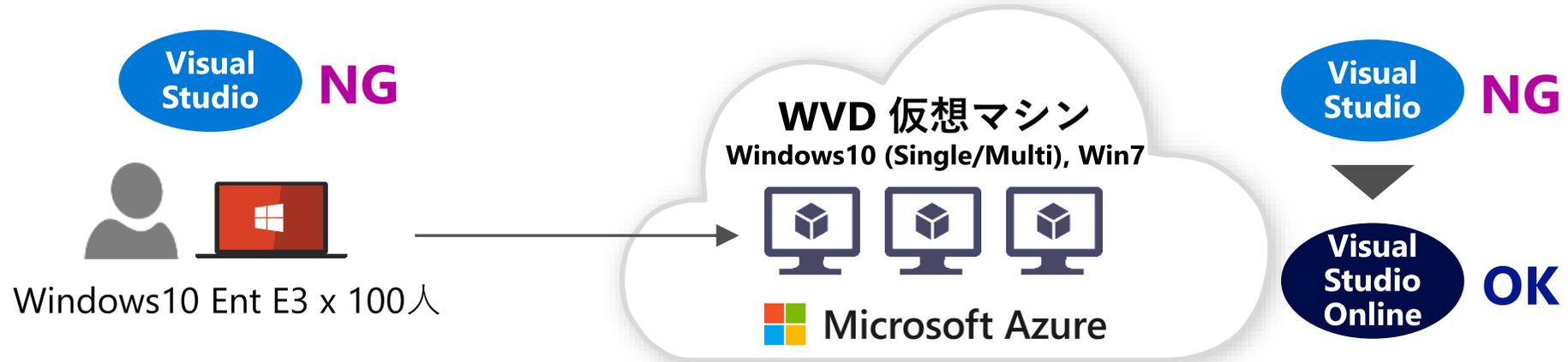
## RPA ロボットには M365 Unattended ライセンスが必要です

- RPA ロボットはユーザーではなくプログラムとなるため、RPA ロボットに対してMicrosoft 365 Apps for Enterprise ユーザーライセンスを割り当てることはできません
- Microsoft 365 - Unattended ライセンスという RPA に特化したライセンスなら WVD でも使用できます。ロボット 単位で購入が必要となります  
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/office/client-developer/integration/considerations-unattended-automation-office-microsoft-365-for-unattended-rpa>
- Office Pro Plus (永続ライセンス版) はライセンスモビリティがないため、クラウドへの持ち込みが許容されておりません。また、マルチプレキシング規定により、RPAで生成されるOfficeドキュメントをユーザーが利用する際、RPA側と同じOffice製品・バージョンの権利を保有する必要があります。

# Visual Studioをつかった開発利用

追加ライセンス必要

クラウド上ではVisual Studio (サブスクリプション版)のライセンスが必要



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有OS
  - Windows 10 Ent E3 per user x 100
  - Visual Studio License x 100

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- WVDのVM上でVisual Studioを利用する

## 追加購入が必要なライセンス

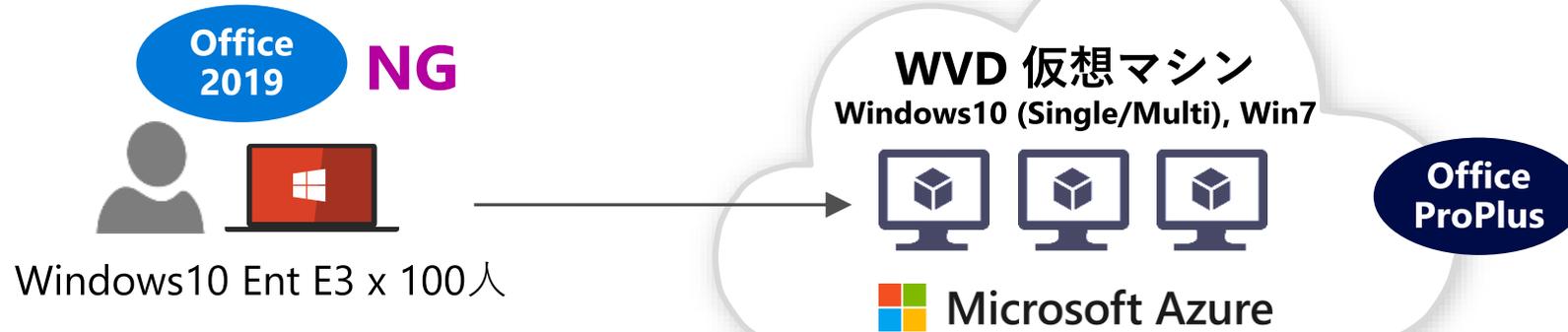
- 有効なVisual Studioサブスクリプション(旧MSDN)をユーザー数分用意する必要があります。
- [解説]
- Azure上では買い切りのVisual Studioは利用できません
  - サブスクリプション版Visual Studioをご購入頂く必要があります

# Azure Dedicated HostでのWVD利用

- 注釈：Native WVDにおけるDedicated Host展開について
- Native WVDではARMからGUI操作のみでDedicated Hostを展開することはできません
  - Dedicated Hostの展開、WVD Agentインストールを手動で実施する必要があります
  - Citrix CloudならびにVMware Horizon Cloudについては各ベンダー様へお問い合わせください

追加ライセンス必要

Office 永続ライセンスはクラウドへの持ち込み不可  
Microsoft 365 Appsが必要



## お客様の既存環境

- 社員 100名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有OS
  - Windows 10 Ent E3 per user x 100
  - Office 2019 License x 100

## シナリオ

- 100名全員、物理PCの利用は継続
- 100名全員がWVDを利用する
- WVDのVM上でOfficeを利用する

## 追加購入が必要なライセンス

- Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧称Office 365 ProPlus) 又は Microsoft 365 Business Premium (旧称Microsoft 365 Business)に含まれるMicrosoft Apps for Business のいずれか必要ユーザー数分を用意する必要あり

[解説]

- Office 永続ライセンス版はクラウド上への持ち込みが不可
- Microsoft 365 Apps (上記参照) はAzureを含めたQMTHに認定されているクラウドへの持ち込みが可能 (QMTH : Qualified Multitenant Host)

# 必要ライセンスの購入方法

# 主な製品に関するライセンスプログラム対応表

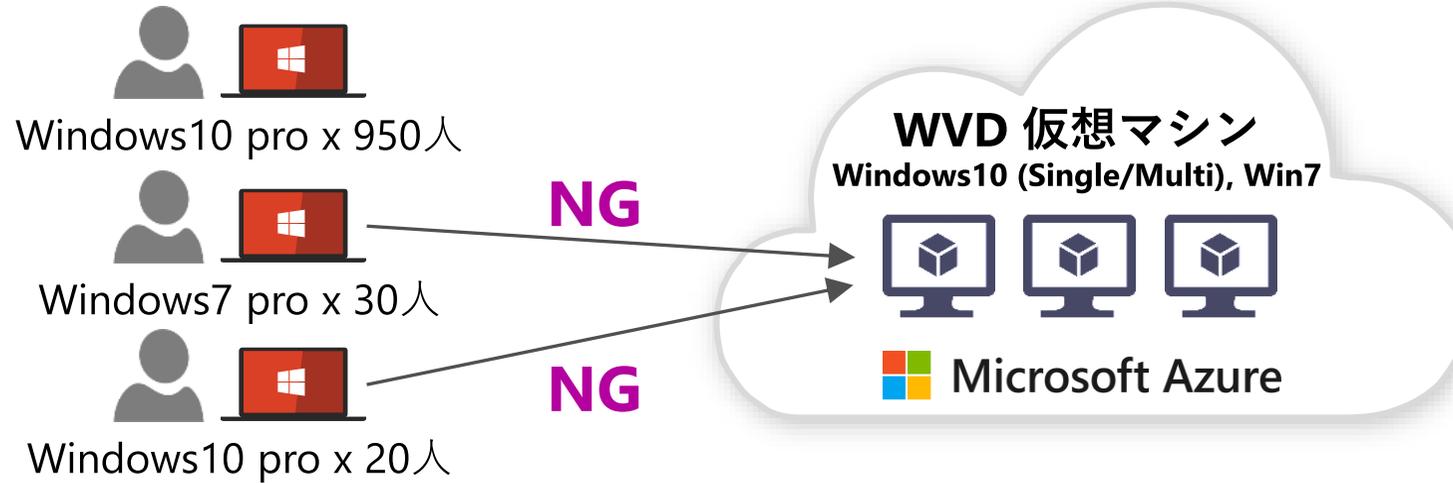
大企業のお客様は、EA(ESA)契約, MPSA,契約, CSP契約の何れかの方法で購入が可  
 中規模・小規模のお客様(従業員250名未満の企業様)は、CSP契約にて購入が可

契約の特徴	従業員500名以上の企業様との契約	従業員250名以上の企業様との契約	従業員250名未満の企業様との契約	CSPパートナー経由の契約 (企業規模問わず)
	全数購入が必須	任意数での購入が可能 ※年間一定額以上の購入が必要	任意数での購入が可能 ※年間一定額以上の購入が必要	任意数での購入のみ
	EA/ESA契約	MPSA契約	OPENライセンス契約	CSP契約
Windows 10 E3/E5	○	○	×	○
Microsoft 365 E3/E5	○	○	×	○
Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧Office365 ProPlus)	○	○	○	○
Windows VDA per user	○	○	×	○ (E3のみ)

# ユースケース: 従業員規模500名以上のお客様の場合

追加ライセンス必要

手元にWindows 7&10 Pro per device を所有している



## お客様の既存環境

- 社員 1000名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有ライセンス
  - Windows は OEM (Professional版)で所有
  - M365 apps for Ent (旧Office 365 E3) x 1000 (EA契約にて購入済み)

## シナリオ

- 1,000名全員、物理PCの利用は継続
- 50名が特定用途にてWVDを利用する
- OfficeソフトウェアをWVD上で利用したい
- 重要なデータへのアクセスはWVDを利用

## 追加購入が必要なライセンス

- Windows 10 Ent E3 per user x 50  
※その他 WVDの利用権を含むLicense

[解説]

- ただし、1000人全員がWVDを利用する場合は追加で950本のライセンス購入が必要
- Windows 10 Home搭載のPCをご利用ユーザーがWVDにアクセスする場合は、Win VDAライセンスを別途購入する必要がある。

# 購入例①: EA契約でAzure/O365を利用している場合

# 購入例②: CSP契約でAzureを利用、EA契約でO365を利用している場合

ライセンスプログラム	ESA (Enterprise Subscription Agreement)	MPSA	CSP (Cloud Solution Provider)
購入要件	Win 10 E3単体：全数	任意数	任意数
購入期間	最大 <b>36</b> か月 (*加入契約満了日まで、購入タイミングにより異なる)	最低25か月～最大36か月 (*購入アカウント応当日まで)	パートナー様へのご確認となります
コスト	大規模エンタープライズ企業を対象とする 包括契約 (EA/ESA) 単価設定	大規模エンタープライズ企業を 対象とする包括契約 (EA/ESA) 単価設定	パートナー様へのご確認となります
管理 *要御社内ご確認	O365と同じポータルでの管理	O365と別ポータルでの管理 (MBC)	パートナー様へのご確認となります
商流	LSP (Licensing Solution Partner)	LSP	CSP

\*御社ポリシーの観点でご選択可能なプログラムが限られる可能性もありますので、御社内365管理者様等交えてご確認ください。

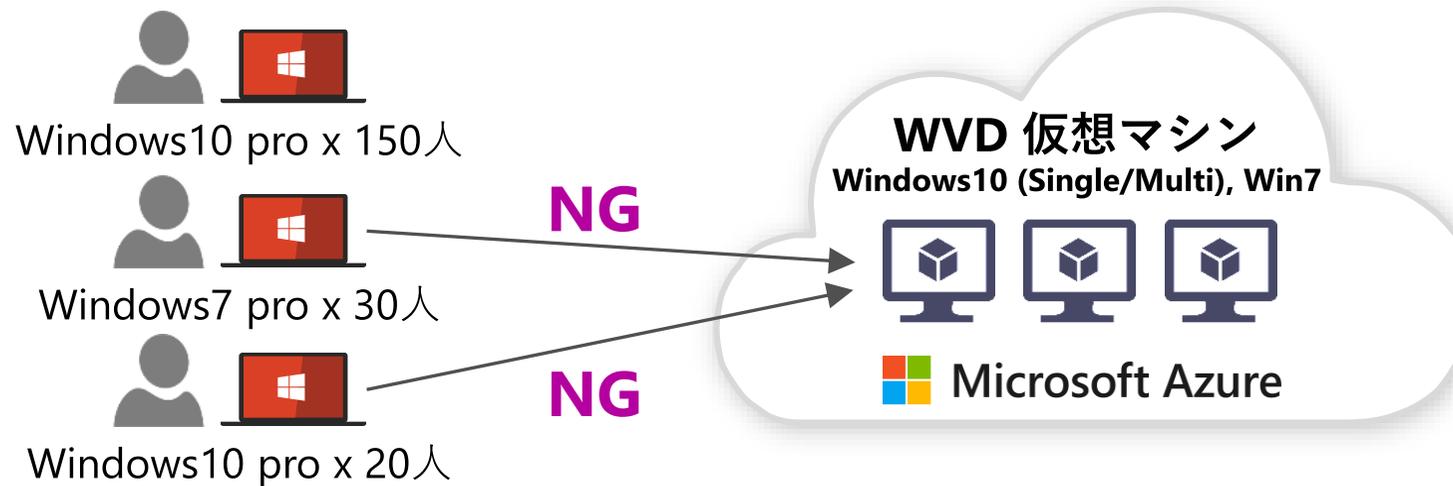
## <ご参考>

- LSPパートナー一覧: <https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/how-to-buy/lsp>
- CSP検索: <https://partner.microsoft.com/en-US/membership/cloud-solution-provider/find-a-provider>
- Windows 10 ボリュームライセンスガイド:  
[http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows\\_10\\_Volume\\_Licensing\\_Guide\\_JP.PDF](http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows_10_Volume_Licensing_Guide_JP.PDF)

# ユースケース:従業員規模500名未満のお客様の場合

(EA持っていないケース)

追加ライセンス必要



## お客様の既存環境

- 社員 200名
- 物理PC環境
- 社給
- 所有ライセンス
  - Windows は OEM (Professional版)で所有

## シナリオ

- 200名全員、物理PCの利用は継続
- 50名が特定用途にてWVDを利用する
- OfficeソフトウェアをWVD上で利用したい
- 重要なデータへのアクセスはWVDを利用

## 追加購入が必要なライセンス

- Windows 10 Ent E3 per user x 50  
※その他 WVDの利用権を含むLicense
- Microsoft 365 Apps for Enterprise 又は Microsoft 365 Business Premium に含まれる Microsoft 365 Apps for Business のいずれかのライセンス x50

# 購入例③: EA/MPSA契約がなく、新規でWVDを導入したい場合

ライセンス プログラム	CSP (Cloud Solution Provider)
購入要件	Win 10 E3単体：任意数 M365 Business Premium：任意数 または Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧Office 365 ProPlus) :任意数
購入期間	パートナー様へのご確認となります
コスト	パートナー様へのご確認となります
管理 *要御社内ご確認	パートナー様へのご確認となります
商流	CSP

<ご参考>

• CSP検索: <https://partner.microsoft.com/en-US/membership/cloud-solution-provider/find-a-provider>

• Windows 10 ボリュームライセンスガイド:

[http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows\\_10\\_Volume\\_Licensing\\_Guide\\_JP.PDF](http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows_10_Volume_Licensing_Guide_JP.PDF)

# 教育機関でWVDを導入したい場合

ライセンスプログラム	EES
購入要件	Microsoft 365 A3 Win 10 E3単体 Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧Office 365 ProPlus) どの製品も教職員全体か学生全体、もしくは両方全体で契約 教職員全体で契約した場合、学生使用特典でWVDで使用できるライセンスを学生に一定比率で無償提供
購入期間	1年/3年
コスト	パートナー様へのご確認となります
管理 *要御社内ご確認	パートナー様へのご確認となります
商流	対象リセラー

ライセンスプログラム	CSP (Cloud Solution Provider)
購入要件	Microsoft 365 A3 Win 10 A3単体 Microsoft 365 Apps for Enterprise (旧Office 365 ProPlus)
購入期間	パートナー様へのご確認となります
コスト	パートナー様へのご確認となります
管理 *要御社内ご確認	パートナー様へのご確認となります
商流	CSP

<ご参考>

• CSP検索: <https://partner.microsoft.com/en-US/membership/cloud-solution-provider/find-a-provider>

• Windows 10 ボリュームライセンスガイド:

[http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows\\_10\\_Volume\\_Licensing\\_Guide\\_JP.PDF](http://download.microsoft.com/download/C/6/B/C6B624F0-CE78-4605-9357-6866C8C655A3/Windows_10_Volume_Licensing_Guide_JP.PDF)

**【重要】 2019年10月1日より変更**

ホスティング及びクラウド環境における  
ライセンスの使用条件について

# マイクロソフトライセンス条項の改訂

- 専用ホスト クラウドサービス（物理占有）上のライセンス条項が変更
- 今後は専用ホスト(物理占有) とマルチテナント (物理共有) に同じ条件を適用

## 最新のアウトソーシング ライセンス条項

 オンプレミス/ 従来のアウトソーシング サービス		 クラウドサービス	
オンプレミス	従来のアウトソーシング	Listed Provider による 専用ホスト クラウドサービス	マルチテナント クラウドサービス
オンプレミス使用権		<ul style="list-style-type: none"><li>●ソフトウェア アシュアランスによる</li><li>●ライセンス モビリティ（適用される場合）</li><li>●Azure限定のAzureハイブリッド特典</li><li>●ライセンスが含まれるクラウドサービス</li></ul>	

<https://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/news/updated-licensing-rights-for-dedicated-cloud>

# 条件変更対象となるクラウドサービス

[Listed Provider](#)に記載のあるクラウドサービスプロバイダーのみです

## 2019年11月15日時点の対象クラウドサービスプロバイダー情報は以下

「リストに記載されたプロバイダー」は、[マイクロソフト製品条項](#)で定義される用語です。

2019年10月をもって、リストに記載されたプロバイダーには以下の団体とその関連会社が含まれます。

- Alibaba
- Amazon
- Google
- Microsoft

この指定は、リストに記載されたプロバイダーによって提供されるすべてのサービスに適用されます (VMware Cloud on AWS など)。

このリストは、変更される可能性があり、<https://aka.ms/ListedProviders> からアクセスできます。

# 影響を受ける可能性のある製品/ライセンス

- 2019年10月1日以後に新規購入するオンプレミス ソフトウェア
- ライセンスの取得時期によらず、2019年10月1日以後にリリースされた Microsoft製品にアップグレードする場合
- 2019年10月以後に新規取得、更新するサブスクリプションライセンス ( Windows Enterprise E3/E5、VDA E3/E5、これを含む Suite )

# Office ライセンスにつきて

## 専用ホストクラウドサービス(物理占有) で利用可能なOffice

Listed Provider	Office 365 ProPlus	Azureのみ動作可能
	Office Professional Plus	クラウド事業者又は SPLA パートナーからのサービス提供のみ利用可能
Listed Provider 以外の プロバイダー	Office 365 ProPlus	—
	Office Professional Plus	—

## 共有ホストクラウドサービスで利用可能なOffice

Listed Provider , それ以外のプロバイダー共通	Office 365 ProPlus	QMTH に記載されているクラウドサービスプロバイダーのみが対象
	Office Professional Plus	クラウド事業者又は SPLA パートナーからのサービス提供のみ利用可能

# Windows Enterprise ライセンスにつきまして

## 専用ホストクラウドサービス(物理占有) で利用可能なWindows Enterprise

Listed Provider	VDA E3/E5 USL	—
	Windows Enterprise E3/E5 USL	Azureのみ動作可能
Listed Provider 以外の プロバイダー	オンプレミスと同じ扱い	—

## 共有ホストクラウドサービスで利用可能なWindows Enterprise

Windows 10 E3/E5 USL	Windows 10 E3/E5 USL	QMTH に記載されているクラウドサービス プロバイダーのみが対象
	VDA E3/E5 USL	

# 利用可能ライセンス(2019/10/1より前)

Microsoft 製品	オンプレミス	Listed Provider		Listed Provider以外		Azure	
		物理占有型	共有型	物理占有型	共有型	ADH/AVS	Azure IaaS
Windows Server	サポートされる ライセンス全て	サポートされる ライセンス全て	SPLA	サポートされる ライセンス全て	SPLA	サポートされる ライセンス全て	従量課金 AHUB
SQL Server			SPLA SA		SPLA SA		従量課金 SA AHUB
Windows 10 LTSC			—		—		—
Windows 10 SAC			Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL QMTH必須		Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL QMTH必須		Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL
Office Professional Plus			SPLA		SPLA		SPLA (Microsoftからの提供無)
Office 365 ProPlus			QMTH必須 SCA必須		QMTH必須 SCA必須		SCA必須

- **CSP契約から取得したWindows/VDAライセンスにはソフトウェアアシュアランス(SA)の権利がなく、結果として占有環境のWindows利用は不可となります。なお共有環境のWindows使用は「マルチテナントホスティング」の権利により許諾されるため利用は可能です。**
- **共有型上のWindows 10/Office 365 ProPlus利用はQMTHに記載されているクラウドである必要があります**

ADH = Azure Dedicated Host  
AVS = Azure VMware Solution

QMTH = Qualified Multitenant Hosting  
SCA = Office 365 Shared Computer Activation  
SPLA = Service Provider License Agreement

SA = Software Assurance  
AHUB = Azure Hybrid Benefit  
CSP = Cloud Solution Provider

# ご参考：利用可能ライセンス(2019/10/1以後)

Microsoft 製品	オンプレミス	Listed Provider		Listed Provider以外		Azure	
		物理占有型	共有型	物理占有型	共有型	ADH/AVS	Azure IaaS
Windows Server	サポートされる ライセンス全て	SPLA	SPLA	サポートされる ライセンス全て	SPLA	従量課金 AHUB	従量課金 AHUB
SQL Server		SPLA SA	SPLA SA		SPLA SA	従量課金 SA AHUB	従量課金 SA AHUB
Windows 10 LTSC		VDA E3/E5 USL	—		—	VDA E3/E5 USL	—
Windows 10 SAC		VDA E3/E5 USL	Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL QMTH必須		Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL QMTH必須	Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL QMTH必須	Windows 10 E3/E5 USL VDA E3/E5 USL
Office Professional Plus		SPLA	SPLA		SPLA	SPLA (Microsoftからの 提供無)	SPLA (Microsoftからの 提供無)
Office 365 ProPlus (現M365apps)		—	QMTH必須 SCA必須		QMTH必須 SCA必須	SCA必須	SCA必須

- **CSP契約から取得したWindows/VDAライセンスにはソフトウェアアシュアランス(SA)の権利がなく、結果として占有環境のWindows利用は不可となります。なお共有環境のWindows使用は「マルチテナントホスティング」の権利により許諾されるため利用は可能です。**
- **共有型上のWindows 10/Office 365 ProPlus利用はQMTHに記載されているクラウドである必要があります**

ADH = Azure Dedicated Host  
AVS = Azure VMware Solution

QMTH = Qualified Multitenant Hosting  
SCA = Office 365 Shared Computer Activation  
SPLA = Service Provider License Agreement

SA = Software Assurance  
AHUB = Azure Hybrid Benefit  
CSP = Cloud Solution Provider

**FAQ**

## よくある ご質問

Q

WVDの事前検証を目的した場合、1人が複数のデバイスやAzure上の仮想マシンにアクセスすることがありますが、この場合1ユーザーライセンスにおける利用台数の制限はありますか？

A

Windows Virtual Desktop for Windows 7 および Windows 10 Microsoft 365 E3/E5/F3/Business/A3/A5/学生使用特典、Windows 10 Enterprise E3/E5、Windows 10 Education A3/A5、または Windows VDA E3/E5のライセンスを取得したユーザーは、Windows Virtual Desktop (WVD) Windows 7 および Windows 10仮想マシンにアクセスできます。WVD 仮想マシンはユーザーのデバイスアクティベーションの制限数から差し引かれることはありません。つまり、1人のユーザーが検証でWindows 10をインストールした100台のVMのWVD環境を使う場合、適切なライセンスが1ライセンス必要となります。

# よくある ご質問

Q

QMTHの認定を受けているListedパートナー/Listedパートナー外の共有型ホスティングサービスでなければ、Windows 10 E3/E5 USL 又はVDA E3/E5 USLを持っていてもライセンスを持ち込むことはできないですか？

A

QMTH 認定クラウドの 共有環境でなければ、Windows / VDA Per User ライセンスを持っていても、持ち込みはできません。AWS等のQMTHでない共有環境では、Windowsクライアントをライセンス上実行する方法はありません。

# よくある ご質問

Q

O365 E1ライセンスを持っている場合、Windows/Officeアプリ以外のTeams/OneDrive等のその他アプリをListedパートナー(AWS/GCP)、またはAzureに持ち込んで使うことは可能でしょうか? 追加ライセンスの発生有無、使用可否を含め教えて頂けないでしょうか?

A

アプリを個別に取得する場合、アプリにより異なるため一概には言うことができません。

# よくある ご質問

Q

QMTHの認定を受けていないGoogleクラウド/AWSクラウドの共有型ホスティングサービスに、Windows 10 E3/E5 USL/VDA E3 E5 USLを持ち込んで使用している場合、そのユーザーはライセンス違反になりますか？

A

はい、ライセンス許諾されません。

# よくある ご質問

Q

Windows 10 E3/E5 USLをもっていれば、SA特典が含まれており、SA特典の中にWindows VDAの権利が含まれています。そのため、Windows 10 E3/E5 USLがあれば、別途VDAライセンスを購入することなWindows 10をAzureに持ち込むことは可能ですか？

A

いいえ、できません。これは、Windows E3/E5でのAzureの使用が許諾されているので可能、という考え方にに基づきます。Windows 10 E3/E5 ライセンスに、VDA E3/E5 ライセンスが含まれているわけではありません。VDA Per User が使用できても、Windows Per User が使用できないケースが存在します。  
(例 : Listed Provider 占有環境での使用)

# よくある ご質問

Q

既存のActive DirectoryとAzure ADとの同期ができないのですが、Windows Enterprise E3ライセンスを購入し、WVDを利用することはできますか？

A

WVDを利用するユーザーに、必要なライセンスを取得済みであれば、既存のActive DirectoryとAzure ADで同期ができないこと自体はライセンス上問題ありません。

# よくある ご質問

Q

WVD や WVD を組み込んだソリューションを DaaS として外部ユーザーに提供できますか？

A

Azure を使用した DaaS の提供は Azure の「ホスティングサービスの例外」によって可能になりますが、WVD はライセンスとしての Azure サービスではないため、Azure の「ホスティングサービスの例外」も適用できません。

また SPLA では Windows Client OS の提供はありません。SPLA RDS SAL には「Windows Virtual Desktop for Windows Server」の利用は認められていません。

# よくある ご質問

Q

VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure で WVD は使用できますか？

A

可能です。ライセンス上、Azure 上の仮想化基盤は制限されていません。

# よくある ご質問

Q

Windows 10 Enterprise Multi-Session は WVD 以外でも使用できますか？

A

できません。WVD (Citrix Cloud、VMware Horizon Cloudを含む)で展開、利用する場合のみサポートされます。

# よくある ご質問

Q

関連会社で WVD を共同利用できますか。

A

WVD をホストする Azure のライセンスを関連会社も使用できるプログラムで取得していれば可能です。例えば CSP で Azure ライセンスを取得している場合、関連会社（資本関係 50% 超）も Azure を使用できます。各関連会社の WVD にアクセスするユーザーには適切なライセンスが必要です。

# よくある ご質問

Q

その他ここで触れられていないアプリケーションについてはどうなりますか？

A

WVD環境での利用に関するライセンスについては、各社ライセンス提供元にご確認ください。

なお、Visual Studioはサブスクリプション付きライセンスであればWVD環境で利用できます。

# よくある ご質問

Q

Windows 10を利用するにあたって、Azure Active Directory 認証 (Azure AD ベースのライセンス認証)は必須ですか?

A

WVD環境での利用にあたって、Azure Active Directory 認証は必須ではありません。

# エンドユーザー様向け問い合わせ窓口

ご購入にあたり、本資料に記載の情報の確認などのご相談は  
下記窓口までお問い合わせください。

**マイクロソフト セールスホットライン**

**0120-167-400**

**営業時間 9:00~17:30 土日祝日、弊社指定定休日を除く**

# パートナー様向けの問い合わせ窓口

## クラウド ビジネス相談センター



The screenshot shows the Microsoft support website interface. At the top, there is a navigation bar with the Microsoft logo, a 'サポート' (Support) menu, and links for Microsoft 365, Office, Windows, Surface, Xbox, and セール (Sale). A button for 'Microsoft 365 を購入する' (Buy Microsoft 365) and a dropdown for 'すべて Microsoft 製品' (All Microsoft products) are also visible. Below the navigation bar, there is a secondary menu with links for '製品' (Products), 'デバイス' (Devices), '最新情報' (Latest news), 'アカウントおよび請求' (Accounts and billing), 'テンプレート' (Templates), and 'その他のサポート' (Other support). The main content area is titled 'クラウド ビジネス相談センターの利用' (Using the Cloud Business Consultation Center) and is specifically for 'Partner' users. A table of contents lists sections: '内容' (Content), '説明' (Description), '要件' (Requirements), 'お問い合わせ方法' (Contact method), and '詳細情報' (Detailed information). The '説明' section is expanded, showing a paragraph that explains that the Cloud Business Consultation Center is a benefit of the Microsoft Partner Network, used to shorten application development time, provide proposals tailored to customer needs, and expand system deployment more efficiently. It includes a link to <http://aka.ms/TPD> for more details.

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/3121537/using-technical-presales-and-deployment-services>

**前頁に記載のエンドユーザー様向け問い合わせ窓口では  
パートナー様からのお問い合わせは受け付けておりませんので、ご注意ください。**



- 本書に記載した情報は、本書各項目に関する発行日現在の Microsoft の見解を表明するものです。Microsoftは絶えず変化する市場に対応しなければならないため、ここに記載した情報に対していかなる責務を負うものではなく、提示された情報の信憑性については保証できません。
- 本書は情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。
- すべての当該著作権法を遵守することはお客様の責務です。Microsoftの書面による明確な許可なく、本書の如何なる部分についても、転載や検索システムへの格納または挿入を行うことは、どのような形式または手段（電子的、機械的、複写、レコーディング、その他）、および目的であっても禁じられています。これらは著作権保護された権利を制限するものではありません。
- Microsoftは、本書の内容を保護する特許、特許出願書、商標、著作権、またはその他の知的財産権を保有する場合があります。Microsoftから書面によるライセンス契約が明確に供給される場合を除いて、本書の提供はこれらの特許、商標、著作権、またはその他の知的財産へのライセンスを与えるものではありません。

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft, Windows, その他本文中に登場した各製品名は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、一般に各社の商標です。